

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Daisy kids堺		
○保護者評価実施期間	2024年 5月 25日		2024年 8月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 23	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 16	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている	スタッフ全体で日々のこどもの様子を共有し、様々な角度から必要な支援や支援の方向性を検討している。	以前よりもさらに個別性の高い支援を実現するために、スタッフ全体で視点について共通理解ができるよう研修・支援会議を引き続き行う。
2	ご家族へのサポート	電話やメール等での相談があった場合、時間調整を行いながら、ご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談等を行っている。 利用予定日に利用が難しい場合は、振替を調整し対応しています。	年3回の保護者会では、保護者同士の交流や学びの時間を設けているので、ご意見を聞きながら、安心して通所できる環境を整えていきます。
3	年齢や発達段階に応じたメニューの提供を心掛けている	ルーティンの動きを大切に、不安を減らし、自立に繋げていくプログラムです。同じ体幹トレーニングでも、教具を変えたり、配置を変えたりするなどし、利用児の視点に立ちプログラムを組んでいる	児童記録を通じ、スタッフ間でもそれぞれの関わりを共有できるようにし、偏りの無いようにしている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新しく入職した職員とご家族との面識や交流の機会が少ない	勤務時間や日数の関係上、送迎添乗員としての勤務時間がないこと。面談や担当者会議に出る職員が限定されている。	可能な限り、送迎の際、保護者とのコミュニケーションを意識する。写真等の紹介を作成する。年3回開催されている保護者会では、多くの職員が面識を持てるようにする。
2			
3			